

集落活動センターの推進について

1. 平成30年度の取り組み状況

(1) 量的拡大

ア 新たな掘り起こし

- ・集落の活力づくり支援事業費補助金による支援
平成30年度執行見込み：12,000千円（5市町村 5件）

イ 市町村とのさらなる連携・強調

- ・市町村との個別の意見交換の実施（13市町村）

ウ 成功事例の発信等

- ・制度説明用パンフレットの作成・配布（5,000部）
- ・中心商店街でのPR活動3回 等

(2) 質的向上

ア 事業支援

- ・集落活動センター推進事業費補助金
平成30年度執行見込み：120,939千円
うち整備事業：76,849千円（13市町村 18件）
うち人材導入活用事業：27,883千円（14市町村 22件）
うち経済活動拡充支援事業：6,212千円（2町 2件）
うち基幹ビジネス確立支援事業：9,995千円（1町 1件）

イ 人材育成確保等

- ・集落活動センター研修会等の実施6回（6/19、9/13、9/25、28、1/9、11）
- ・高知ふるさと応援隊研修会の実施2回（5/23-24、11/26-27）
- ・アドバイザーの派遣
集落活動センター推進アドバイザー25回（予定を含む）
地域づくりアドバイザー12回（予定を含む）

ウ 集落活動センターのネットワークづくり

- ・集落活動センター連絡協議会の活動支援

2. 課題

(1) 量的拡大

- ・さらなる掘り起こしに向けた、市町村との連携強化
- ・人材（専任者）確保への支援の強化
- ・集落の活力づくり支援事業費補助金等のさらなる周知

(2) 質的向上

- ・集落活動センターが行う経済活動のさらなる充実・強化
- ・基幹ビジネス確立支援事業へ移行するための支援の強化

3. 平成31年度の取り組み方針・進め方

(1) 量的拡大

- ・市町村との意見交換の実施
- ・首都圏・県内都市地域での人材の掘り起こし・確保
- ・集落の活力づくり支援事業費補助金の活用を促進

(2) 質的向上

- ・産業振興計画（自然・体験型観光など）との連携強化
- ・基幹ビジネスの強化・確立に向け、センターの活動に応じたきめ細かな伴走支援を実施
- ・首都圏・県内都市地域での人材の掘り起こし・確保（再掲）
- ・（仮称）中山間地域振興アドバイザーの派遣
- ・集落活動センター連絡協議会の活動支援

集落活動センターを核とした集落の維持・再生の仕組みづくり

目指す姿

高齢者の暮らしを守り、若者が住み続けられる中山間地域の実現

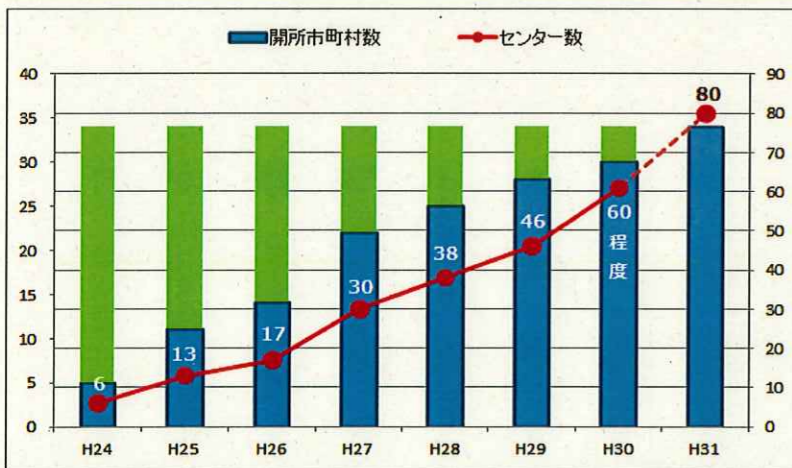


平成31年度の取り組み

集落活動センターのネットワークのさらなる拡大<量的拡大>

- 高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI：80か所の達成に向け、開所に向けた取り組みを加速
 - ・集落活動センター推進事業費補助金（整備事業、経済活動拡充支援事業）
 - ・集落活動センター推進交付金
 - ・集落の活力づくり支援事業
 - ・市町村とのさらなる連携強化等
 - ・情報発信事業
 - 集落活動センター小冊子「土佐巡里」の改訂・制作、ポータルサイト「えいとこうち」の運用、中心商店街でのPR販売等
 - ・魅力ある地域づくり活動支援事業
 - コミュニティ助成事業を活用し、魅力ある地域づくり活動を支援・育成

集落活動センター開所実績と目標



ひとつづくり

- 人材導入・確保への支援
 - ・集落活動センター推進事業費補助金（人材導入活用事業）
 - ・高知ふるさと応援隊県外募集説明等
 - ・地域おこし人材確保・連携強化事業

（仮称）高知家地域おこし人セミナー

- 首都圏・県内都市地域において、集落活動センターをはじめとする地域おこし活動に携わる人材（地域おこし協力隊・集落支援員含む）の掘り起こし・確保等を目的とするセミナーを開催
- ネットワーク化を通じた地域おこし人材のすそ野の拡大による、地域おこし活動のさらなる活性化

○人材育成事業

- ・集落活動センター研修
 - 全体研修
 - 高知ふるさと応援隊研修
 - 初任者研修、交流勉強会
- ・（仮称）中山間地域振興アドバイザー

【見直し】
集落活動センターの取り組み内容、開設時期・活動期間による課題の多様化や、センターのさらなる発展に向けた経済活動の強化への支援を充実

- *中山間地域活性化アドバイザー、集落活動センター推進アドバイザー等、地域づくりアドバイザーの統合
- *テーマ別研修を見直し、アドバイザー制度を組み合わせるオーダーメイド型の支援を充実（（仮称）うちんくのビジネス塾）

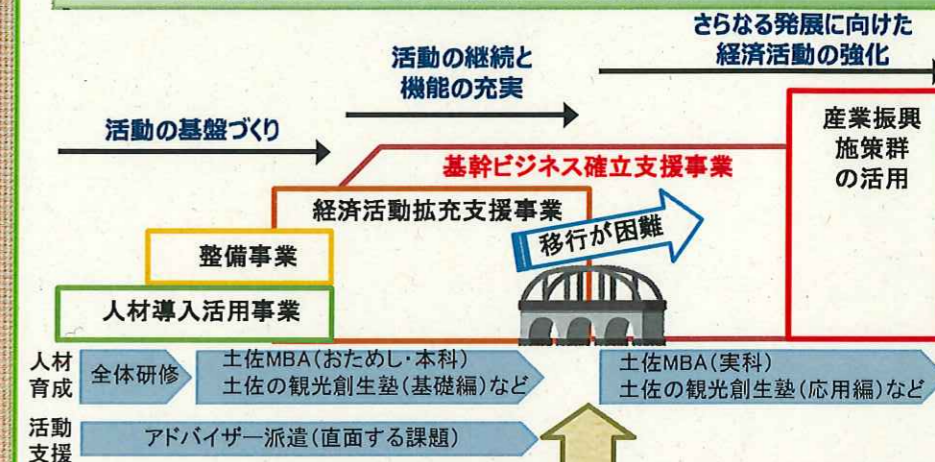
○集落活動センターの相互交流・相互研鑽

- ・集落活動センター推進事業費補助金（集落活動センター連絡協議会支援事業）
- 総会、フォーラム、情報交換会、相互視察等を実施

活動の継続・拡充と経済活動の強化<質的向上>

- 経済活動の強化への支援
 - ・集落活動センター推進事業費補助金（基幹ビジネス確立支援事業）

【課題】・経済活動拡充支援事業から基幹ビジネス確立支援事業へ移行するハードルが高い
→事業の構想・計画段階から、人材（専任者）を確保・育成することが重要
→集落活動センターの多様化した課題への対応が必要



- オーダーメイド型の伴走支援（仮称）うちんくのビジネス塾
- 人材（専任者）確保の支援（仮称）高知家地域おこし人セミナー

（仮称）うちんくのビジネス塾

伴走支援する専門家(メンター)の一貫した指導のもと、集落活動センターの現状分析から、新規事業の立ち上げや既存事業の拡充に向けた検討、事業計画の作成を経て事業（基幹ビジネス確立支援事業）を実施

課題を踏まえ施策を強化！

【課題1】掘り起こしてきた候補地区等への粘り強いアプローチが必要

【課題2】集落活動センターの拡大・充実に向けて人材（専任者）確保への支援の強化が必要

【課題3】基幹ビジネス確立支援事業へ移行するための支援の強化が必要

これまでの取り組み

◇センターの取り組み段階に応じた支援
 <活動の基盤づくり～活動の継続と機能の充実～さらなる発展に向けた経済活動の強化>
 ・集落活動センター推進事業費補助金【H30交付決定額（見込）：120,939千円】
 整備事業：室戸市椎名地区（活動用備品の整備）等18件
 人材導入活用事業：22件
 経済活動拡充支援事業：梶原町四万川地区（葬祭事業用ハード整備）等2件
 基幹ビジネス確立支援事業：土佐町石原地区（コミュニティセンター改修（宿泊交流事業））1件

◇人材育成・確保の取り組み
 ・集落活動センター研修会の実施
 全体研修（6月）、事業計画作成研修（9月）、財務・法人化研修（1月）計5回予定
 ・高知ふるさと応援隊研修会の実施
 初任者研修（5月）、交流勉強会（11月）計2回
 ・アドバイザーの派遣（予定を含む）
 集落活動センター推進アドバイザー等25回、地域づくりアドバイザー12回

◇集落活動センターのネットワークづくり
 ・集落活動センター連絡協議会への支援



◇センターの掘り起こしのための支援
 ・集落の活力づくり支援事業費補助金【H30交付決定額（見込）：12,000千円】
 室戸市日南地区（調理設備の整備）、津野町船戸地区（活動拠点の整備）等5件

◇市町村との連携強化
 ・中山間振興・交通部幹部等職員が各市町村を訪問・協議
 （H30.12月末時点：13市町村）

◇集落活動センターの取り組みへの理解度の向上
 ・推進フォーラムの実施
 ・制度説明用パンフレットの配布
 ・農家レストラン・特産品等情報発信小冊子の配布
 ・ポータルサイト「えいとこうち」の運用
 ・中心商店街でのPR活動等

現状

○各種施策により、集落活動センターの活動を支援

[財政支援]

- ・集落活動センター推進事業費補助金により、センターの活動段階に合わせた支援を実施

[人材育成]

- ・すべてのセンターを対象に集合型で、

①全体研修、②テーマ別研修を実施

(H30参加者:①6/19 184名

②事業計画作成 9/25 56名、9/28 44名

②財務・法人化 1/9 51名、1/11 59名

[アドバイザー]

- ・活動充実等に向けて、集落活動センター推進アドバイザー等を派遣

(H30.12月末時点:推進アドバイザー5回

実践活動アドバイザー17回)

課題

○経済活動拡充支援事業から基幹ビジネス確立支援事業へ移行するハードルが高い

- ・センターの基幹ビジネスとして経済活動を強化、確立する取り組みは、地域にとっては大きなチャレンジであり、容易ではない
- ・基幹ビジネス確立支援事業の活用にあたって、人材やノウハウが不足している

⇒ **事業の構想・計画段階から、人材(専任者)を確保・育成することが重要**

⇒ **取り組み内容や、開設時期・活動期間の違いにより多様化したセンターの課題への対応が必要**

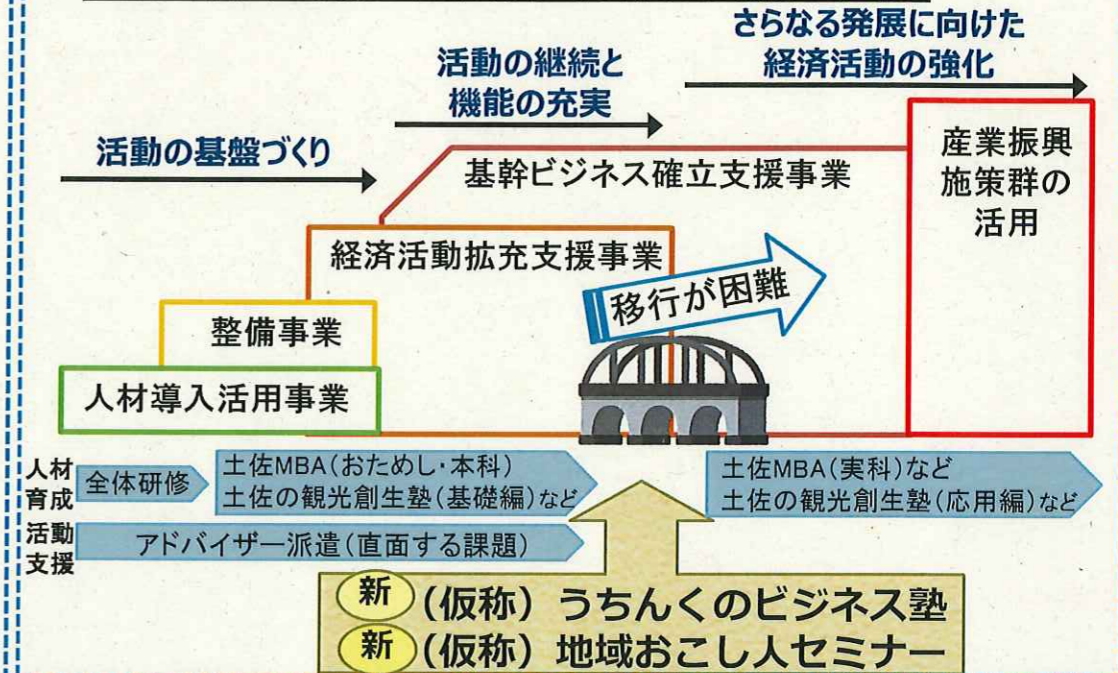
(研修受講者の声)

- ・個別のセンターに出向いて研修を実施してほしい
- ・(センターの実情に応じた)具体的な事業計画の作成方法を教えてほしい等

今後の方向性

○集合型のテーマ別研修を見直し、アドバイザー制度と組み合わせた、オーダーメイド型の支援を実施

○人材(専任者)の確保に向けた支援を実施



(仮称)うちんくのビジネス塾を通じた支援の仕組み

取り組みの概要

伴走支援する専門家(メンター)の一貫した指導のもと、集落活動センターの現状分析から、新規事業の立ち上げや既存事業の拡充に向けた検討、事業計画の作成を経て事業を実施することで、センターの自律的な経営(運営)を強化する。

進め方(案)

各地域ごと2箇所程度を想定

働きかけ

マッチング

専門家による伴走支援

事業の実施

ビジネス基本構想(案)の策定

専任者の確保(雇用)を前提に、専門家(統括)の助言のもと、地域本部・中山間地域対策課が基本構想(案)を策定

ビジネス基本構想(案)の提案

専門家(統括、メンター候補)の同席のもと、県が、市町村・集落活動センターに基本構想(案)を提案

〈対象〉

原則として、活動の基盤づくりが完了(整備事業の活用終了が目安)した集落活動センター

伴走支援する専門家とマッチング

専門家(統括)がマッチングを後方支援

〈基準〉

- ・経済活動を実施する意欲が高いこと
- ・活動に従事する専任者の雇用等に前向きであること

Check (1~2回) →

現状把握

現状を分析・点検し、課題を専門家と共有

目標の達成状況
決算書、既存事業の収支
運営体制(人員配置、動線など)
顧客の評価などを分析

Action (1~2回) →

改善策の検討

専門家の助言のもと、改善策を検討

目標、運営体制(法人化など)
収益構造の見直し
情報収集(市場調査など)
新規事業導入の検討 など

Plan (3~6回) →

事業計画の作成

・事業構想シート、事業計画書を作成し、専門家が助言
・地域の合意形成

事業計画の磨き上げ

試験的な経済活動(試験販売、モニターツアー、ターゲット層への聞き取りなど)を通じて、計画を磨き上げ

Do

事業計画の実施

事業実施
専任者などによるマネジメント

活動の見直し(PDCA)

専任者(高知ふるさと応援隊など)の雇用

人材育成(経営・マネジメント力)、組織体制の強化(法人化)

人材確保の支援((仮称)地域おこし人セミナー)

自律的経営(運営)の強化!



- 狙い**
- 首都圏・県内都市地域における、集落活動センターをはじめとする地域おこし活動に携わる人材の掘り起こし・確保
 - ネットワーク化を通じた地域おこし人材のすそ野の拡大による、地域おこし活動のさらなる活性化

気がつけば、家族。
高知家



【告知方法】

- ・市町村・地域関係者、応援隊等からの紹介
- ・民間企業の活用
- ・国や県の関係機関等による告知機会の活用 など

- 地域おこしに関心がある人
- 田舎に興味がある人

人材の掘り起こし

新 高知家地域おこし人セミナー (仮)

県外版

- <目的>** ◆地域おこし協力隊 (集落活動センター専任者など) の確保
- <概要>** ○東京で開催 (5市町村程度の参加を想定)
- セミナーを通じた、地域おこし協力隊の募集・マッチングを実施
 - ・市町村及び地域住民から市町村や地域活動の取り組みを紹介
 - ・県から起業に向けた支援策 (土佐MBA、KSP等) や地域おこし協力隊OB・OGによる起業事例などを紹介
 - ・WSや交流会を開催し、意見交換・情報交換を実施

「全国一学びの機会が多い県」であることをPR

県内版

- <目的>** ◆集落支援員 (集落活動センター専任者など) をはじめ、地域おこし活動に携わる人材の確保
- ◆Uターン希望者を含む県内中山間地域の関係人口のネットワーク化
- <概要>** ○高知市で開催 (3市町村参加×3回)
- セミナーを通じた、集落支援員や地域活動への参画者の掘り起こし及びフォローアップの実施
 - ・市町村及び地域住民から地域活動の取り組みを紹介し参画を呼びかけ
 - ・WSや交流会を開催し、意見交換・情報交換を実施



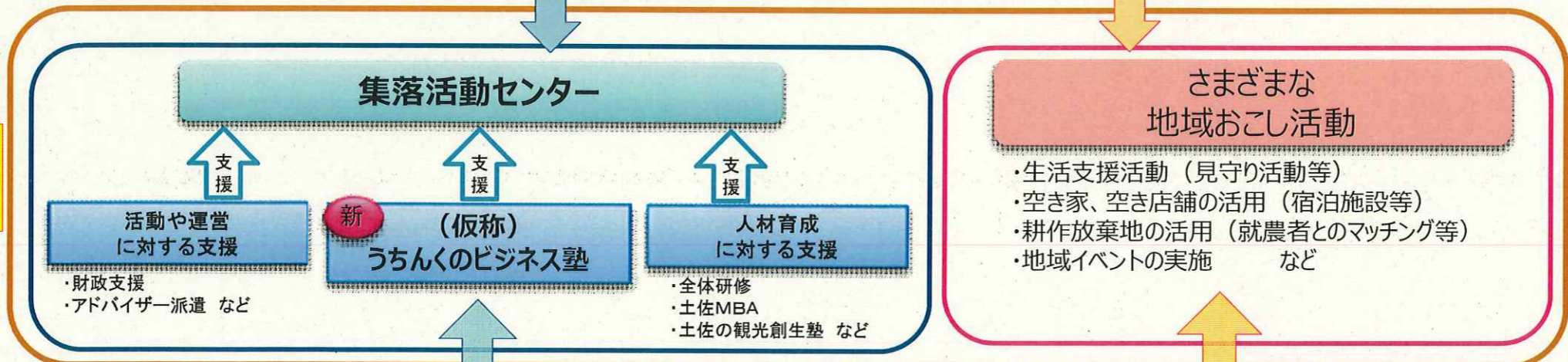
ネットワーク化

- 参加者へのフォローアップ
 - ・SNSを活用した情報交換
 - ・広報誌や市町村メルマガにより市町村や地域とのつながりを作る
 - ・つながりを活用して、地域等が行う事業の実現を図る
 - ・会員証 (名札) の交付

人材の確保

高知ふるさと応援隊

専任者



地域と継続的なつながりを持つ人材の増加

地域との関わりを持つ者

その地域にルーツがある者

これから地域との関わりを持つようになる者

地域活性化

○地域おこし人材が行う「情報発信」により新たな関心者を創出

「地域おこし活動の更なる活発化」

- 地域おこし人材のすそ野拡大
- ネットワークの強化